



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファ
 コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川名 祥之
 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	37,051	6.0	1,216	121.3	768	△46.6	29	△97.3
27年3月期第3四半期	34,957	△8.0	549	△17.7	1,438	△13.9	1,117	34.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 △1,141百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 1,882百万円 (△39.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	3.12	—
27年3月期第3四半期	117.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	54,379	28,298	50.4	2,871.96
27年3月期	55,468	29,844	52.1	3,025.28

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 27,434百万円 27年3月期 28,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	2.9	2,000	21.1	2,000	△20.5	1,500	△25.0	157.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注意事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	10,200,000 株	27年3月期	10,200,000 株
28年3月期3Q	647,477 株	27年3月期	647,431 株
28年3月期3Q	9,552,556 株	27年3月期3Q	9,552,602 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に関しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では、原油安、ドル高等による悪影響が懸念されるものの、景気は緩やかな拡大基調が続いており、欧州では回復基調を維持しました。中国及び新興国では経済成長の鈍化が継続しました。日本経済は、政府による各種政策等により回復傾向を維持しているものの、個人消費は、中国を中心とした新興国経済の減速リスクや原油安による物価見通しの下振れ等により伸び悩みました。

当社グループの属する自動車業界では、北米を中心に海外生産は伸びましたが、国内での生産台数は前年並みとなりました。

セキュリティ機器業界では、国内の住宅着工件数において消費増税の反動からの回復は期待したほどではありませんでした。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は370億51百万円と前年同四半期に比べ、20億94百万円（6.0%）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は12億16百万円と前年同四半期に比べ、6億66百万円（121.3%）の増益となりました。経常利益は7億68百万円と前年同四半期に比べ、6億69百万円（△46.6%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、29百万円と前年同四半期に比べ、10億88百万円（△97.3%）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、売上高は82億7百万円と前年同四半期に比べ、9億96百万円（△10.8%）の減収、営業損失は9億20百万円（前年同四半期は営業損失9億5百万円）となりました。

②自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）は、主要得意先の自動車生産台数の増加により、売上高は105億48百万円と前年同四半期に比べ、12億円（12.8%）の増収、生産合理化等の効果により、営業利益は5億48百万円（前年同四半期は営業利益14百万円）となりました。

③自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）は、新たにALPHA KOREA Co., Ltd. を連結したことに伴い、売上高は157億95百万円と前年同四半期に比べ、14億11百万円（9.8%）の増収、営業利益は11億3百万円と前年同四半期に比べ、1億10百万円（11.1%）の増益となりました。

④セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）は、住宅向け電気錠の販売が好調なこと等により、売上高は52億37百万円と前年同四半期に比べ2億28百万円（4.6%）の増収、営業利益は3億45百万円と前年同四半期に比べ1億65百万円（92.4%）の増益となりました。

⑤セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）は、売上高は、21億46百万円と前年同四半期に比べ、3億28百万円（18.1%）の増収、営業利益は1億2百万円と前年同四半期に比べ18百万円（21.7%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は543億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億89百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、11億77百万円増加し、149億33百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が9億79百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が3億31百万円、その他の流動資産が4億9百万円減少したこと等により、20百万円減少し、286億89百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が10億64百万円減少したこと等により、10億67百万円減少し、256億80百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が4億42百万円減少したこと等により、35百万円減少し、134億40百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が7億3百万円増加したこと等により、4億92百万円増加し、126億40百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が10億99百万円減少したこと等により、15億46百万円減少し、282億98百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の52.1%から1.7ポイント減少し、50.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきまして、平成27年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間より、ALPHA KOREA Co., Ltd. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、群馬アルファ株式会社は平成27年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,355	7,335
受取手形及び売掛金	11,076	10,744
商品及び製品	2,074	2,020
仕掛品	1,108	1,059
原材料及び貯蔵品	5,066	4,943
その他	3,045	2,636
貸倒引当金	△15	△49
流動資産合計	28,710	28,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,146	5,510
機械装置及び運搬具（純額）	5,320	4,865
土地	1,685	1,621
その他（純額）	4,167	4,258
有形固定資産合計	17,319	16,255
無形固定資産		
のれん	906	785
その他	353	421
無形固定資産合計	1,260	1,206
投資その他の資産		
投資有価証券	5,731	5,568
その他	2,434	2,649
投資その他の資産合計	8,166	8,218
固定資産合計	26,747	25,680
繰延資産	10	9
資産合計	55,468	54,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,528	5,085
短期借入金	3,751	4,215
未払法人税等	343	479
賞与引当金	425	145
製品保証引当金	173	171
事業構造改善引当金	211	120
その他	3,042	3,221
流動負債合計	13,475	13,440
固定負債		
社債	600	480
長期借入金	7,497	8,200
退職給付に係る負債	63	64
資産除去債務	43	42
その他	3,944	3,852
固定負債合計	12,148	12,640
負債合計	25,623	26,081

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	16,894	16,637
自己株式	△578	△578
株主資本合計	22,028	21,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,253	3,145
為替換算調整勘定	3,617	2,517
その他の包括利益累計額合計	6,870	5,663
非支配株主持分	945	864
純資産合計	29,844	28,298
負債純資産合計	55,468	54,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	34,957	37,051
売上原価	29,743	31,090
売上総利益	5,213	5,961
販売費及び一般管理費	4,663	4,744
営業利益	549	1,216
営業外収益		
受取利息	50	54
受取配当金	66	69
為替差益	837	—
その他	151	155
営業外収益合計	1,106	278
営業外費用		
支払利息	138	152
為替差損	—	511
その他	79	62
営業外費用合計	217	726
経常利益	1,438	768
特別利益		
固定資産売却益	104	16
投資有価証券売却益	184	—
受取保険金	60	—
災害損失引当金戻入額	48	—
事業構造改善引当金戻入額	—	82
その他	—	0
特別利益合計	398	99
特別損失		
固定資産除売却損	1	7
その他	0	1
特別損失合計	1	9
税金等調整前四半期純利益	1,835	857
法人税、住民税及び事業税	597	587
法人税等調整額	44	172
法人税等合計	641	759
四半期純利益	1,193	97
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,117	29

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	1,193	97
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	379	△108
為替換算調整勘定	309	△1,131
その他の包括利益合計	689	△1,239
四半期包括利益	1,882	△1,141
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,795	△1,185
非支配株主に係る四半期包括利益	87	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,004	9,325	13,289	4,902	434	34,957	—	34,957
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,199	22	1,094	106	1,383	4,806	△4,806	—
計	9,204	9,348	14,383	5,008	1,818	39,763	△4,806	34,957
セグメント利益 又は損失 (△)	△905	14	992	179	84	365	183	549

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額183百万円は、セグメント間取引消去183百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,095	10,524	14,721	5,209	501	37,051	—	37,051
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,111	24	1,074	27	1,645	4,883	△4,883	—
計	8,207	10,548	15,795	5,237	2,146	41,935	△4,883	37,051
セグメント利益 又は損失 (△)	△920	548	1,103	345	102	1,178	37	1,216

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額37百万円は、セグメント間取引消去37百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。